

「モノづくり」と「エネルギー・マネジメント」で未来に挑戦する次世代エネルギーカーイベント

マイナビ Ene-1 GP SUZUKA 2014

2014年8月3日(日)開催



KV-40には昨年を上回る全85チームがエントリー！
新競技KV-BIKEにも17チームがエントリー！

～情熱をパワーに替えて世界屈指の難コースに挑む!!～

2011年から始まった「Ene-1 GP SUZUKA」は大会を重ねるごとにエントリーが増え、4回目となる今年はKV-40チャレンジに過去最多となる85チームがエントリーいたしました。KV-40はパナソニック製充電式単3電池40本を動力源としたマシンを操り、鈴鹿サーキットフルコース1周(5.807km)のタイムアタックを3回行います。また、3回のアタック中は電池を充電することはできず、各アタックの走行タイムの合計と、走行距離(未完走の場合)で順位を競います。参加クラスは車両重量の制限がないKV-1、車両重量が35kg以上のKV-2に分けられ、それぞれ一般部門、高等学校部門、大学・高専・専門学校部門に加え中学生部門(KV-2のみ)も設け、車両性能とエネルギー・マネジメントを競います。

また今年から新たに2輪部門の「KV-BIKE」が始まります。より多くの方々に参加いただきやすいよう、自転車をベースとして製作できる車両規則となっており、今年は中学生チームをはじめとした17チームが参戦します。

様々な種類のカーブがあり、アップダウンの激しい鈴鹿サーキットは参加者にとってまさに難コース。いかに限られたエネルギーを有効に使うかのエネルギー・マネジメントにも、また車体製作にも創意工夫に満ちたアイデアが生かされています。ハードルが高ければ高いほど燃える参加者から、自分達で決めた目標へのチャレンジを試みるチームや車両のデザインに工夫を凝らすチームなど、様々な参加者が集います。



KV-40チャレンジ(2014年試走会での走行シーン)



KV-BIKEチャレンジ(2014年試走会での走行シーン)

KV-40チャレンジ

KV-40チャレンジに中学生部門7チームが出場 みえサイエンスジュニアからは4チームが参戦



KV-40チャレンジ
(2014年試走会でのコースインシーン)

中学生部門のエントリーは、昨年の4チームから7チームに増え、信州大学付属長野中チームは昨年の1台から2台に、地元三重県からは一身田中学PC部が新たに参戦します。また昨年出場したみえサイエンスジュニアからは4チームが参加します。「未来の地域を担う科学技術人材の育成」を目的とした「みえサイエンスネットワーク」からの参戦で、三重県下をはじめとする様々な中学校から集った中学生たちが合同でチームを結成し挑戦します。

すでに今年6月に行われた試走会では各チームとも好記録を出しており、昨年を大きく上回る記録が期待されています。



みえサイエンスジュニアのメンバー

KV-40チャレンジ規則

パナソニック製充電式単3電池40本を動力源とするKV-40チャレンジは、鈴鹿サーキットフルコース1周(5.807km)のタイムアタックを3回行い、各アタックの走行タイムの合計や、走行距離(未完走の場合)で順位を競います。

参加クラスは、車両重量の制限がないKV-1と車両重量が35kg以上のKV-2に分けられ、高等学校部門、大学・高専・専門学校部門に加え中学生部門があり、一般部門と一緒に車両性能とエネルギーマネジメントを競います。

鈴鹿サーキットのコースはアップダウンが激しく、さらには車体に大きな負荷がかかるカーブも連続します。この難コースを攻略し、優勝やそれぞれの目標を達成すべく、丈夫で走りやすい車体造りに加え、エネルギーを効率的に使うドライブングや作戦など、チームが一丸となってチャレンジを繰り広げます。

■クラス分け・主な規則・グループカテゴリー・競技内容

	KV-1	KV-2
車両重量制限	車両重量制限なし	車両重量35kg以上
ドライバー重量制限	55kg以上(装備品含む)	55kg以上(装備品含む)
グループカテゴリー	a. 一般部門 b. 大学,高専,専門学校部門 c. 高等学校部門	a. 一般部門 b. 大学,高専,専門学校部門 c. 高等学校部門 d. 中学生部門
競技内容	鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.807km) 1周のタイムアタック×3回	

※装備品: ヘルメット、つなぎ服、グローブ、靴のすべて

主な参加チームのコメント

■KV-1 a(一般部門) No. 3 東郷アヒルエコパレーシング

「(株)東郷製作所のクラブチームです。連覇を目指して頑張ります」

■KV-1 c(高等学校部門) No. 33 team 宮工(宮崎工業高校)

「エコ電気自動車競技に取り組み、工業高校の活性化・もの作り教育の充実、環境問題への意識向上を目的に活動しています」

■KV-1 c(高等学校部門) No. 36 鳥取県立鳥取工業高等学校

「2回目の参加です。昨年よりも良い結果目指して頑張ります!!」

■KV-2 c(高等学校部門) No. 80 飯田OIDE長姫高校

「先輩方が卒業して1年生が入部し、新チームとして大会に臨みます。ミスなく、みんなで協力し、優勝を目指します」

■KV-2 c(高等学校部門) No. 83 愛知県立豊橋工業高等学校 機械部

「初めての鈴鹿で不安ですが、楽しみたいと思います」

■KV-2 d(中学生部門) No. 86 みえサイエンスジュニア Red

「チーム白子(白子幼稚園・白子小学校・白子中学校)が3Dブロックカーを作り、国際レーシングコースを走ります」

KV-BIKEチャレンジ

KV-BIKEチャレンジ全国大会初開催！ 中学校部門を含む4部門に17チームがエントリー



KV-BIKEチャレンジ(2014年試走会での走行シーン)

今年初めて開催されるのが、市販されている自転車のフレームにKV-40同様、パナソニック製充電式単3電池40本を搭載し、国際レーシングコース東コース(2.243km)を舞台にタイムアタックと1時間の耐久走行を行うイベントです。風の影響を抑え、登りや下りでエネルギー消費をいかにセーブするか、きめ細かなエネルギーマネジメントが要求される競技です。初代チャンピオンを目指し、各チームがチャレンジを繰り広げます。

KV-BIKEチャレンジ規則

KV-40チャレンジと同じく、充電式単3電池40本を動力源とした2輪マシンで走行します。鈴鹿サーキット東コース1周(2.243km)のタイムアタックと、同コースを1時間走行する耐久レースの2つが行われ、両方の結果で成績が決定します。

クラス分けはなく、高等学校部門、大学・高専・専門学校部門に加え、中学生部門も設けられています。

■主な規則・グループカテゴリー・競技内容

車両重量制限	車両重量15kg以上
ライダー重量制限	55kg以上(装備品含む)
グループカテゴリー	a. 一般部門 b. 大学・高専・専門学校部門 c. 高等学校部門 d. 中学生部門
競技内容	・ONE LAP タイムアタック : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース東コース(2.243km) 1周 ・e-kiden 1時間ロングディスタンス: 鈴鹿サーキット国際レーシングコース東コース(2.243km) 1時間走行

※装備品: ヘルメット、つなぎ服、グローブ、靴、肘当て、膝当てのすべて

主な参加チームのコメント

■a(一般部門) No. 3 EV大阪

「KV-BIKEチャレンジ参加にあたり徹底的にEVOLTAを研究しましたので初代チャンピオンを目指し全力で走行します」

■a(一般部門) No. 5 忍者マスカルポーネ

「初めての参加です。まずは二輪部門で様子見をして、ゆくゆくはKV-40を目指します」

■c(高等学校部門) No. 11 宇都宮工業高校 課題研究班

「学校で学んだ知識を生かし、カッコイイ電動バイクを製作しました」

■c(高等学校部門) No. 12 SUMMER UOZU 2014

「一年生中心のチームなので、分からないことばかりでした。本番では、完走できるようがんばります」

■d(中学生部門) No. 13・14・15・16・17 みえサイエンスジュニア

「みえサイエンスジュニアの16の中学校から38人のメンバーが集結しました」

イベント情報

EVパフォーマンス エキシビジョン走行

バッテリーとモーターを動力源とした軽自動車以上の車両(市販電気自動車を含む)でのエキシビジョン走行を実施します。

- 日時:8月3日(日)10:55～11:25
- 場所:鈴鹿サーキット国際レーシングコース



2013年のEVパフォーマンス走行シーン

パナソニック 手づくり乾電池教室／バックヤードツアー

- 開催日時:8月3日(日)10:00～11:20／11:20～12:40／13:20～14:40
全3回開催
※手づくり乾電池教室50分／バックヤードツアー30分
※バックヤードツアーは希望者のみ
- 参加対象:小学校3～6年生(保護者様の同伴が必要です)

【手づくり乾電池教室】

- 場所:パドック内ピットビル2階ホスピタリティラウンジNo.5
※受付はイベント開始の15分前から行います
- 内容:パナソニックオリジナル乾電池キットを使用して、
世界で一つのオリジナル乾電池を制作

【バックヤードツアー】

- 場所:ビューアズルーム(管制室)、ポディウム(表彰台)
- 内容:サーキットのバックヤード(裏側)を見学



手づくり乾電池教室



バックヤードツアー

※写真はイメージです

アーテック・ブロックロボ体験教室／バックヤードツアー

- 開催日時:8月3日(日)10:00～11:20／11:20～12:40／13:20～14:40
全3回開催
※ブロックロボ体験教室50分／バックヤードツアー30分
※バックヤードツアーは希望者のみ
- 参加対象:幼稚園～中学生(保護者様の同伴が必要です)

【アーテック・ブロックロボ体験教室】

- 場所:パドック内ピットビル2階ホスピタリティラウンジNo.4
※受付はイベント開始の15分前から行います
- 内容:どの面にも組み付けることができるアーテック・ブロックを使い、電池で動くロボット作りを体験

【バックヤードツアー】

- 場所:ビューアズルーム(管制室)、ポディウム(表彰台)
- 内容:サーキットのバックヤード(裏側)を見学



アーテック・ブロックロボ

主催:みえサイエンスネットワーク
共催:株式会社アーテック/
中部電力 鈴鹿営業所/
白子幼稚園／白子小学校/
白子中学校／高田短期大学/
鈴鹿工業高等専門学校
協力:パナソニック株式会社
鈴鹿サーキット

KV-40チャレンジ エントリーリスト

[合計台数:85台]

KV-1クラス [55台]

参加クラス	No.	チーム名	都道府県	出場回数
KV-1 a 一般部門	1	OrangeWaryTech	大阪府	3
	2	OrangeWaryTech	大阪府	1
	3	東郷アヒルエコパレーシング	愛知県	3
	4	Team BIZON	静岡県	4
	5	Ecotec-Ikuno	大阪府	1
	6	チーム 48	神奈川県	1
	7	TEAM SHINOGI	兵庫県	1
	8	中日本自動車短期大学	岐阜県	4
	9	Team"K" Project EV	岐阜県	3
	10	PROJECT MONO ◇ TTDC	愛知県	3
	11	チーム"ヨイショット!"ミツバ	群馬県	4
	12	ちーむ SBR	愛知県	3
	13	MCJ69	群馬県	1
	14	Zero toDarwinProject	栃木県	1
	15	DREAM CAR PROJECT 1	愛知県	3
KV-1 b 大学、高専、専門学校部門	16	香川高専 次世代自動車研究部	香川県	1
	17	大阪産業大学新エネルギービークル PJ α	大阪府	4
	18	北陸能開大 Team-KV	富山県	3
	19	ホンダテクニカルカレッジ関東	埼玉県	1
	20	とよこう Works	愛知県	3
	21	滋賀職業能力開発短期大学校	滋賀県	2
	23	OCT サツパリ∞	大阪府	4
	24	金沢工業高等専門学校	石川県	2
	25	ホンダテクニカルカレッジ関西 EV同好会	大阪府	4
	26	福井高専 Ene-1GP チャレンジ	福井県	1
	27	AITEP	愛知県	3
	28	長野高専 Selene(上半身のみの参加)	長野県	2
	KV-1 c 高等学校部門	29	大阪市立生野工業高等学校 機械工作部	大阪府
30		市立関商工高等学校 3	岐阜県	4
31		市立関商工高等学校 2	岐阜県	4
32		富山工業高等学校	富山県	4
33		team 宮工(宮崎工業高校)	宮崎県	3
34		高知県立高知東工業高等学校自動車工作部 α	高知県	4
35		高知県立高知東工業高等学校自動車工作部 β	高知県	4
36		鳥取県立鳥取工業高等学校	鳥取県	2
37		岐阜第一高等学校	岐阜県	3
38		三谷水産高校 機関部	愛知県	3
39		愛知工業高等学校化学工業科	愛知県	4
40		MTHS 松工 ソーラーカーチーム	三重県	4
41		石川県立七尾東雲高等学校 メカトロ部	石川県	3
42		長野県飯田 OIDE 長姫高校	長野県	4
43		刈谷工業高校	愛知県	4
44		福岡市立博多工業高等学校 A チーム	福岡県	4
45		福岡市立博多工業高等学校 B チーム	福岡県	4
46		呉港高等学校	広島県	3
47		呉港高等学校 エコテック	広島県	3
48		紀北工業高等学校 ものづくり研究部	和歌山県	4
49		三重県立桑名工業高等学校 3年4組課題研究	三重県	4
50		愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	愛知県	4

KV-1クラス

参加クラス	No.	チーム名	都道府県	出場回数
KV-1 c 高等学校部門	51	大阪府立佐野工科高等学校	大阪府	3
	52	Aichi 豊田工高 生産技術部	愛知県	1
	53	豊国学園 自動車部	福岡県	2
	54	栃木県立宇都宮工業高等学校科学技術研究部	栃木県	3
	55	栃木県立宇都宮工業高等学校科学技術研究部	栃木県	3
	56	大阪市立東淀工業高等学校 技術研究部	大阪府	1

KV-2クラス [30台]

参加クラス	No.	チーム名	都道府県	出場回数
KV-2 a 一般部門	61	チーム テクノ	群馬県	2
	62	隼	奈良県	2
	63	Team Bishamon	愛知県	2
	64	PROJECT MONO ◇ TTDC	愛知県	3
	65	PROJECT MONO ◇ TTDC	愛知県	3
	66	松本お祭り同好会	長野県	1
	67	東富士エコラン同好会	静岡県	4
	68	ARP ちびT EV部	愛知県	4
	69	DREAM CAR PROJECT 2	愛知県	3
	70	OpenStar with Prince	愛知県	4
KV-2 b 大学、高専、専門学校	71	大阪産業大学新エネルギービークル PJ β	大阪府	4
	72	長野県工科短期大学校	長野県	4
KV-2 c 高等学校部門	73	堺市立堺高等学校 科学部	大阪府	3
	74	大阪市立都島工業高校 UNITY チーム U	大阪府	4
	75	大阪市立都島工業高校 UNITY チーム N	大阪府	4
	76	大阪府立堺工科高等学校 自動車部	大阪府	2
	77	津工業高校 機械研究部	三重県	3
	78	伊勢工業高校 機械部	三重県	3
	79	奈良県立奈良朱雀高等学校 機械研究部	奈良県	3
	80	飯田 OIDE 長姫高校	長野県	3
	81	王寺工業 総合電気科 課題研究チーム	奈良県	1
	83	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	愛知県	4
	84	王寺工業讃岐造 Racing	奈良県	4
	KV-2 d 中学生部門	85	みえサイエンスジュニア Black	三重県
86		みえサイエンスジュニア Red	三重県	2
87		みえサイエンスジュニア Blue	三重県	2
88		みえサイエンスジュニア White	三重県	2
89		信大附属長野中 Accelers-E	長野県	3
90		信大附属長野中技術研究班-E	長野県	3
91		一身田中学校 PC 部	三重県	1

KV-BIKEチャレンジ エントリーリスト

[合計台数:17台]

参加クラス	No.	チーム名	都道府県
a. 一般部門	1	OrangeWaryTech	滋賀県
	2	ミツバイク	群馬県
	3	EV 大阪	大阪
	4	ARP ちびT EV-BIKE 部	愛知県
	5	忍者マスカルポーネ	愛知県
	6	トランジスタ技術 by ミツバ&小野塚精機	東京都
b. 大学、高専、専門学校部門	7	OCT 結束バンド	大阪府
c. 高等学校部門	8	鳥取県立鳥取工業高等学校	鳥取県
	9	愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	愛知県
	10	富山工業高校	富山県
	11	栃木県立宇都宮工業高等学校課題研究	栃木県
	12	SUMMER UOZU 2014	富山県
d. 中学校部門	13	みえサイエンスジュニア Link_1	三重県
	14	みえサイエンスジュニア Link_2	三重県
	15	みえサイエンスジュニア Link_3	三重県
	16	みえサイエンスジュニア Link_4	三重県
	17	みえサイエンスジュニア Link_5	三重県

マイナビ Ene-1 GP SUZUKA 2014は、ゆうえんち入園料でご覧いただけます

料金(ゆうえんち入園料)		
大人(中学生以上)	小学生	3歳~未就学児
1,700円	800円	600円

開催概要

イベント名称: マイナビ Ene-1 GP SUZUKA 2014

開催日程: 2014年8月3日(日)

開催種目: KV-40チャレンジ全国大会 / KV-BIKEチャレンジ全国大会

開催会場: 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース (フルコース1周5.807km)

主催: 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

後援: 文部科学省 / 経済産業省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 /
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 / 一般社団法人鈴鹿市観光協会 /
鈴鹿商工会議所 / 公益社団法人全国工業高等学校長協会 / 三重県教育委員会 /
みえサイエンスネットワーク / 日本EVクラブ